



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月13日

上場会社名 リバーエレテック株式会社
 コード番号 6666 URL <http://www.river-ele.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 富士男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務本部長 (氏名) 大柴 公基

TEL 0551 - 22 - 1211

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,550	26.9	237		221		224	
2020年3月期第2四半期	2,010	2.2	71		79		76	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 204百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 100百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	30.51	
2020年3月期第2四半期	10.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	7,074	1,127	15.9	152.93
2020年3月期	6,782	922	13.6	125.20

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,127百万円 2020年3月期 922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,536	23.6	417		376		307	251.5	41.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	7,492,652 株	2020年3月期	7,492,652 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	121,350 株	2020年3月期	121,302 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	7,371,321 株	2020年3月期2Q	7,371,350 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(自己株式の処分による影響)

当社は、2020年9月18日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行うことを決議しております。通期業績予想の「1株当たり当期純利益」については、自己株式の処分の影響を考慮して記載しております。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

2020年12月11日(金)に開催予定の機関投資家・アナリスト向け決算説明会後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の収束に目途が立たず、依然として予断を許さない状況が続いており、また米中貿易問題の継続などにより引き続き不透明さを含んで推移するものと予測されます。当社の属する電子部品業界においては5G関連向けの需要が後押しをして、緩やかに回復基調に推移するものと思われま

す。当第2四半期連結累計期間の売上高は、水晶製品事業においてスマートフォンを中心とした5G向け製品の受注が前年を大きく上回り、前年同期比26.9%増の2,550,728千円となりました。また損益につきましては、一部の製品においてたな卸資産評価損等を計上しましたが、販売数量の増加と販売価格の是正効果等により、営業利益は237,458千円(前年同期は71,059千円の営業損失)、経常利益は221,909千円(前年同期は79,056千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は224,875千円(前年同期は76,518千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)の増益となりました。売上高営業利益率は9.3%を達成するなどいずれも大幅な利益改善が図られました。

なお、新型コロナウイルス感染症については収束の兆しが依然として見えておりません。現時点における当社グループへの影響は軽微であります。今後も感染対策を継続するとともに、動向を注視してまいります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(水晶製品事業)

	前第2四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	前年同期比
売上高	1,984,916千円	2,533,973千円	27.7%
セグメント利益又は損失(△)	△75,668千円	222,793千円	—

水晶製品事業の売上高は、2,533,973千円(前年同期比27.7%増)、セグメント利益は222,793千円(前年同期は75,668千円のセグメント損失)と前年同期比で増収増益となりました。アプリケーション別では、スマートフォン向けが旺盛な受注に支えられ好調に推移し、とりわけ、スマートフォン及び周辺機器向けの音叉型水晶振動子の売上が伸長しました。車載用途の無線モジュール向け水晶振動子は、新型コロナウイルス感染症の影響から販売数量が落ち込み前年同期比で減収となりました。

(その他の電子部品事業)

	前第2四半期連結累計期間 自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	前年同期比
売上高	25,553千円	16,754千円	△34.4%
セグメント損失(△)	△3,388千円	△884千円	—

その他の電子部品事業は、車載関連機器向けの受注が減少し売上高は16,754千円(前年同期比34.4%減)となりました。損益面では、884千円のセグメント損失(前年同期は3,388千円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金の増加212,652千円、機械装置及び運搬具の増加624,466千円、建設仮勘定の減少717,946千円、繰延税金資産48,901千円の増加等により、前連結会計年度末から291,493千円増加し、7,074,298千円となりました。

負債合計は、1年内返済予定の長期借入金の増加61,634千円、賞与引当金の増加68,510千円、設備関係支払手形の減少107,576千円、長期借入金57,213千円の増加等により、前連結会計年度末から87,148千円増加し、5,947,032千円となりました。

純資産合計は、資本剰余金の減少787,297千円、利益剰余金1,012,172千円の増加等により、前連結会計年度末から204,345千円増加し、1,127,265千円となりました。

キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は372,958千円(前年同期は91,198千円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益221,609千円、減価償却費194,277千円、賞与引当金の増加68,510千円、たな卸資産の増加64,267千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は289,671千円(前年同期は36,181千円の獲得)となりました。これは主に定期預金の預入による支出463,840千円、定期預金の払戻による収入445,936千円、有形固定資産の取得による支出269,394千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は126,115千円(前年同期は236,560千円の獲得)となりました。これは主に長期借入れによる収入698,333千円、長期借入金の返済による支出579,486千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、2020年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。新型コロナウイルス感染症の収束に目途が立たず、依然として予断を許さない状況が続いており、業績予想の修正が必要となれば速やかに開示させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,547,368	1,760,021
受取手形及び売掛金	1,174,497	1,176,837
商品及び製品	74,686	88,889
仕掛品	392,349	406,252
原材料及び貯蔵品	560,138	593,417
その他	139,904	193,223
貸倒引当金	△23,101	△22,918
流動資産合計	3,865,844	4,195,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	299,484	298,815
機械装置及び運搬具(純額)	913,095	1,537,562
工具、器具及び備品(純額)	47,663	52,601
土地	415,429	415,429
リース資産(純額)	31,981	26,442
建設仮勘定	928,399	210,453
有形固定資産合計	2,636,054	2,541,304
無形固定資産		
ソフトウェア	695	2,342
その他	9,466	9,466
無形固定資産合計	10,161	11,808
投資その他の資産		
投資有価証券	38,993	46,278
繰延税金資産	98,346	147,248
その他	133,405	131,933
投資その他の資産合計	270,745	325,460
固定資産合計	2,916,961	2,878,573
資産合計	6,782,805	7,074,298

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	306,045	287,639
短期借入金	1,053,037	1,065,086
1年内返済予定の長期借入金	1,115,590	1,177,224
未払法人税等	15,354	55,124
賞与引当金	31,821	100,331
設備関係支払手形	271,024	163,448
その他	635,513	606,550
流動負債合計	3,428,386	3,455,405
固定負債		
長期借入金	2,031,265	2,088,478
繰延税金負債	36	36
役員退職慰労引当金	118,050	118,050
退職給付に係る負債	266,812	274,709
その他	15,333	10,353
固定負債合計	2,431,497	2,491,627
負債合計	5,859,884	5,947,032
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	787,297	-
利益剰余金	△744,580	267,592
自己株式	△17,891	△17,917
株主資本合計	1,095,345	1,320,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,857	△10,006
為替換算調整勘定	△158,567	△182,922
その他の包括利益累計額合計	△172,424	△192,928
純資産合計	922,920	1,127,265
負債純資産合計	6,782,805	7,074,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,010,469	2,550,728
売上原価	1,610,215	1,808,840
売上総利益	400,254	741,887
販売費及び一般管理費	471,314	504,429
営業利益又は営業損失(△)	△71,059	237,458
営業外収益		
受取利息	2,515	1,793
受取配当金	1,099	933
為替差益	-	4,012
補助金収入	89	3,248
償却債権取立益	7,036	-
その他	5,884	2,000
営業外収益合計	16,626	11,988
営業外費用		
支払利息	22,081	25,175
為替差損	481	-
その他	2,061	2,362
営業外費用合計	24,623	27,537
経常利益又は経常損失(△)	△79,056	221,909
特別利益		
固定資産売却益	1,041	-
投資有価証券売却益	29,087	-
特別利益合計	30,128	-
特別損失		
固定資産除却損	0	139
投資有価証券評価損	24,242	160
特別損失合計	24,242	299
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△73,171	221,609
法人税、住民税及び事業税	2,962	46,207
法人税等調整額	385	△49,473
法人税等合計	3,347	△3,265
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△76,518	224,875
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△76,518	224,875

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△76,518	224,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,821	3,851
為替換算調整勘定	△29,189	△24,355
その他の包括利益合計	△24,368	△20,504
四半期包括利益	△100,887	204,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△100,887	204,371

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△73,171	221,609
減価償却費	186,726	194,277
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△67	59
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,765	68,510
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△18,750	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,478	7,896
受取利息及び受取配当金	△3,614	△2,727
支払利息	22,081	25,175
為替差損益(△は益)	14,288	2,367
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,041	-
有形固定資産除却損	0	139
投資有価証券売却損益(△は益)	△29,087	-
投資有価証券評価損益(△は益)	24,242	160
補助金収入	△89	△3,248
売上債権の増減額(△は増加)	99,901	△4,162
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,611	△64,267
仕入債務の増減額(△は減少)	△117,588	△18,144
未収入金の増減額(△は増加)	219	4,219
未払金の増減額(△は減少)	816	△4,684
その他	9,659	△27,974
小計	119,423	399,206
利息及び配当金の受取額	3,615	2,720
利息の支払額	△24,136	△25,639
法人税等の支払額	△7,793	△6,894
法人税等の還付額	-	316
補助金の受取額	89	3,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	91,198	372,958
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△442,170	△463,840
定期預金の払戻による収入	496,787	445,936
有形固定資産の取得による支出	△77,754	△269,394
有形固定資産の売却による収入	1,041	-
投資有価証券の取得による支出	△3,304	△3,022
投資有価証券の売却による収入	61,492	-
その他	90	648
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,181	△289,671
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	293,932	12,048
長期借入れによる収入	600,000	698,333
長期借入金の返済による支出	△649,066	△579,486
長期未払金の返済による支出	△420	-
自己株式の取得による支出	-	△26
リース債務の返済による支出	△7,884	△4,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	236,560	126,115
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,087	△14,586
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	347,854	194,815
現金及び現金同等物の期首残高	813,933	1,084,945
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,161,787	1,279,761

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月25日開催の第75回定時株主総会の決議により、2020年6月26日付で、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金787,297千円を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替え、また、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金787,297千円を減少し、同額を繰越利益剰余金に振り替え、損失の補てんを行いました。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期についての仮定に重要な変更はありませんが、前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定について、以下のように重要な変更を行っております。

当社では、翌連結会計年度において中長期的な成長を見据えた生産能力の増強を予定しており、これが翌連結会計年度の業績への影響があるものと予想されるため、仮定の見直しを行い、会計上の見積り(主に繰延税金資産の回収可能性)を行っております。

なお、会計上の見積りについては、実績及び中・長期計画を含む将来に関する情報に基づき適切に算出しておりますが、予測不能な前提条件の変化により当該見積りに変動が生じた場合には、当社グループの財政状態や経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(譲渡制限付株式としての自己株式処分)

当社は、2020年9月18日開催の取締役会において、当社及び当社子会社の従業員に対する譲渡制限付株式として自己株式の処分(以下、「本自己株式処分」という。)を行うことについて、決議いたしました。

1. 処分の概要

(1) 処分期日	2020年12月25日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 59,600株
(3) 処分価額	1株につき 701円
(4) 処分総額	41,779,600円
(5) 処分先及びその人数並びに処分株式の数	当社の従業員 71名 14,200株 当社子会社の従業員 227名 45,400株
(6) その他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

2. 処分の目的及び理由

当社は、当社及び当社子会社の従業員に対し、感謝とこれまでの努力に報いるとともに当社グループの持続的な企業価値向上を図るインセンティブの付与及び株主価値の共有を目的として、2020年9月18日開催の取締役会において、本自己株式処分を決議いたしました。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,984,916	25,553	2,010,469	2,010,469
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,984,916	25,553	2,010,469	2,010,469
セグメント損失(△)	△75,668	△3,388	△79,056	△79,056

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△79,056
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△79,056

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,533,973	16,754	2,550,728	2,550,728
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,533,973	16,754	2,550,728	2,550,728
セグメント利益又は損失(△)	222,793	△884	221,909	221,909

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	221,909
四半期連結損益計算書の経常利益	221,909

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。